

国語 第3学年 つたえたいことを、理由をあげて話そう

自分の学級に合わせて直すプロンプト

下の枠の文を全部そのままAI（ChatGPT・Claude・Gemini など）に貼り、質問に答えると、この単元の学習指導案が自分の学級に合わせて直ります。枠の後半には、直す対象の学習指導案が入っています。

あなたは小学校国語の授業づくりを手伝う役です。以下の指導案を、私の学級に合わせて直してください。最初に学級の人数と学習の組み方、関連する既習事項、読む・書く・話す際の困難や必要な配慮、使える授業時間と研究授業の位置、ICTと紙の道具について、一項目ずつ質問し、答えを待ってから次へ進んでください。条件がそろったら、お気に入りの場所を、選んだ理由とそこでの経験を結び付けて紹介する。場所の設備の列举にとどめず、自分が気に入った理由が話の中心として伝わる構成にする。このねらいを保ち、目標・評価規準・計画・本時の活動の対応を確かめて全文を書き直してください。本文や台詞、挿絵、教科書固有の問題文は転載しないでください。時数や人数、時間配分は私の回答か出典があるものだけを使ってください。児童の反応を実測した事実として書かず、予想として示してください。三重の指導案の見出しの順を保ち、教師向けの文章に内部IDなどを出さないでください。変更した所と、その根拠となった私の回答を最後に示してください。直す対象の学習指導案は、この後に続けて書きます。

————ここから直す対象の学習指導案————

第3学年 国語科学習指導案

1 単元名「つたえたいことを、理由をあげて話そう」 教材名「お気に入りの場所、教えます」

2 単元の目標

相手を見て話したり聞いたりし、抑揚や強弱、間の取り方に注意できる。場所のよさが伝わるように、理由と経験を挙げ、中心を明確にして話の構成を考えられる。言葉の働きを確かめ、友達との交流を基に自分の学習を見直そうとする。

3 単元の評価規準

〔知識・技能〕①相手を見て話したり聞いたりし、抑揚や強弱、間の取り方に注意している。（〔知識及び技能〕(1)イ）

〔思考・判断・表現〕①「話すこと・聞くこと」において、場所のよさが伝わるように、理由と経験を挙げ、中心を明確にして話の構成を考えている。（A(1)イ）

〔主体的に学習に取り組む態度〕①学習の見通しをもち、単元で確かめたいことに進んで取り組み、友達の言葉や自分の記録を基に、読み方・表し方を見直そうとしている。

4 指導上の考察

（1）単元について

お気に入りの場所を、選んだ理由とそこでの経験を結び付けて紹介する。場所の設備の列举にとどめず、自分が気に入った理由が話の中心として伝わる構成にする。学習指導要領のA(1)イを中心に据える。関連する知識・技能として〔知識及び技能〕(1)イを、言語活動の中で確かめる。

（2）児童について（学級の実態を書く）

（3）指導について

場所・気に入っている理由・その理由が伝わる経験を分けてメモする。話を聞いた児童は中心を短く言い返す。地域や家庭の事情による経験差を比べず、校内の場所も選べるようにする。おおむね満足できる状況は、場所のよさが伝わるように、理由と経験を挙げ、中心を明確にして話の構成を考えているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。

5 指導と評価の計画（全8時間）

第1次 第1時：○紹介する相手と目的を確かめ、候補の場所を出す。 評価：学習状況を見て支援する。

第2次 第2時：○その場所のよさと、よさを感じた経験をメモする。 評価：知①（語句や内容の整理）

第2次 第3時：○話の中心に合う経験を選び、紹介の順を考える。 評価：学習状況を見て支援する。

第2次 第4時（本時）：○理由と経験が伝わる構成か、メモを使って話して確かめる。 評価：思①（発言・学

習記録)

第2次 第5時：○聞き手の質問を受けて必要な説明を加える。 評価：学習状況を見て支援する。

第2次 第6時：○中心が伝わる話し方を、声や間に注意して練習する。 評価：学習状況を見て支援する。

第2次 第7時：○紹介を聞き合い、それぞれの場所のよさと理由を確かめる。 評価：学習状況を見て支援する。

第3次 第8時：○構成を変えたことで伝わりやすくなった所を振り返る。 評価：態①（学習前後の記録・振り返り）

6 本時の指導（4／8）

（1）本時の目標

場所のよさが伝わるように、理由と経験を挙げ、中心を明確にして話の構成を考えられる。

（2）学習過程

【導入】

学習活動：本時に使う教材・前時までのノートを確認、自分の最初の考えを短く書く。

○「その場所を気に入っている理由が伝わるのは、どんな経験を話したときですか。どの順で話すと中心が伝わりますか」

【めあて】お気に入りの場所を、選んだ理由とそこでの経験を結び付けて紹介する。

予想される児童の反応：・場所の名前だけではよさが伝わらない。

指導上の留意点：本時に考える対象を確認し、既に確かめたことと、今日確かめたいことを分ける。児童の最初の言い方を残し、まとめて比べられるようにする。

【展開】

学習活動：○「その場所を気に入っている理由が伝わるのは、どんな経験を話したときですか。どの順で話すと中心が伝わりますか」

紹介する場所のよさ、そう思う理由、自分の経験をメモに分け、中心が伝わる順に並べて話の構成を作る。そのメモを見て相手に話し、聞き手が捉えた中心を言い返す。伝えたい中心との違いを基に順序を調整する。

予想される児童の反応：・場所の名前だけではよさが伝わらない。

・そこでしたことを話すと理由が分かる。

・全部の思い出を話すより、中心に合う経験を選びたい。

指導上の留意点：場所・気に入っている理由・その理由が伝わる経験を分けてメモする。話を聞いた児童は中心を短く言い返す。地域や家庭の事情による経験差を比べず、校内の場所も選べるようにする。

想定する難しさ：施設の説明や道順だけになる。楽しいからという理由の繰り返しになる。

児童の考えを教師の想定した言い方にそろえない。理由が確かめられる考えは残し、根拠が異なるときはその違いを板書する。

評価：思① 場所のよさが伝わるように、理由と経験を挙げ、中心を明確にして話の構成を考えている。（話の構成メモ・聞き手の応答を基にした修正）

【まとめ】

学習活動：【まとめ】今日確かめた言葉や表現と、それによって確かめたことを対応させて自分の言葉でまとめる。

学習前の考えと比べ、付け加えたこと、残したこと、その理由を記す。

予想される児童の反応：・友達の考えを聞いて、自分の理由を詳しく説明できた。

・全部の思い出を話すより、中心に合う経験を選びたい。

指導上の留意点：まとめの文を先に与えて写させず、児童が本時に扱った実際の言葉を入れる。書くことが難しい場合は口述を記録する。次の学習では、その記録を使って自分の表し方を確かめる。

評価：態①（学習前後の記録と、見直した理由）

（3）板書計画（縦書き・右から左へ）

右端に題名と本時のめあて。その左に問い「その場所を気に入っている理由が伝わるのは、どんな経験を話したときですか。どの順で話すと中心が伝わりますか」。中央は根拠となる言葉・本文の箇所と、そこから考えたことを上下に対応させる。根拠の本文は先生が教科書から書き入れる。中央から左に児童の考えを並べ、同

じところを囲み、違いの理由を線で結ぶ。左端に、本時で確かめた実際の言葉を含むまとめと、考えを見直した理由を書く欄を置く。縦書きで右から左へ学習の順をたどれるようにする。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

